

れんさはんのう
連鎖反応

■ 用語解説 ■

ある現象が起こるとそのことが引き金になりつぎの新しい現象が引き起こされるという具合に反応が連鎖的に起こること。引き金になる要因が複数の場合は現象の数が「ねずみ算」的に増える。その一例が核分裂の連鎖反応である。